

- 多治見砂防国道事務所では、大規模土砂災害発生時における関係機関との連携強化を目的とし、管内6市町村（土岐市、上松町、南木曾町、大桑村、多治見市、中津川市）において、順次合同防災訓練を実施しています。
- 今年度は、大雨により複数箇所において同時多発した土砂災害を想定し、土岐市、岐阜県及び国土交通省の各機関が図上ワークショップ型式で相互の対応を確認し、連携の強化及び災害対応能力の向上を図りました。

【訓練日時】 令和5年6月22日(木) 13:00～16:30

【訓練会場】 土岐市文化プラザ ルナホール

【参加者】 土岐市、岐阜県(防災課・砂防課・東濃県事務所・多治見土木事務所)
中部地方整備局(河川部・多治見砂防国道事務所) **43名**

【見学者】 多治見市、長野県木曾建設事務所、上松町、岐阜地方气象台 **8名**



【ステージ1】土岐市協議中



【ステージ1】国交省協議中



【ステージ2】全体協議

【ステージ1】

滑動が継続する地すべり、がけ崩れによる孤立集落、不安定土砂が残存する土石流発生溪流の緊急対応を要する3つの災害事象における対応方針を各機関ごとに議論し、対応手順や関係機関連携について整理

【ステージ2】

ステージ1において各機関で議論した結果を発表・共有したうえで全体協議、質疑応答のうえ、相互の意見をとりまとめ



土岐市長

6月2日の大雨でも土岐川が過去最高水位を記録し、関係機関からの情報提供が大変役に立った。今回の合同防災訓練により更に関係機関との連携が深まることを期待したい。

いつ何時大規模な土砂災害が発生しても、それぞれ関係機関が円滑に連携し、被害を最小化することができるよう、それぞれの役割分担等くり返しチェックをすることが重要。



多治見砂防国道事務所長



多治見土木事務所長

土岐市は明確な役割分担のもと組織だった素晴らしい対応ができており、大変心強く感じた。今日の訓練がより効果的になるよう、明日の振り返りを提案したい。

◆講評◆

災害発生時に円滑な災害対応をするには、平常時から関係機関が顔の見える関係を構築することが重要。今回の訓練を踏まえ、災害対応能力の向上を期待したい。



中部地方整備局
総合土砂管理官



合同防災訓練会場の様子